

## JSTQBテスト技術者資格制度のご案内



ソフトウェアテストシンポジウム2006 in 大阪  
2006年5月12日(金)  
Japan Software Testing Qualifications Board

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

## ソフトウェア技術者のテスト技術力の向上が急務

- **ソフトウェアの品質や信頼性、安全性の確保は急務**
  - 我々の身の回りは、ソフトウェアで占められている
    - ▶ 自動車、携帯電話、社会インフラ、企業システム...
    - ▶ 我々の身体や財産の安全はソフトウェアに委ねられている
  - しかしソフトウェアの品質や信頼性、安全性は十分に確保されていない
- **ソフトウェア技術者のテスト技術力の向上が急務**
  - 信頼性や安全性を確保する重要な技術として、ソフトウェアテストがある
  - しかし業界全体で、テストの技術力が低迷している
    - ▶ システムトラブルの報道でしばしば目にする「テスト不足」というキーワードは、テストの工数の不足を示唆しているだけではない
  - ソフトウェア技術者全員が、テスト技術を向上させなくてはならない
- **資格認定を技術力向上のきっかけとして頂きたい**
  - 業界全体で技術力を向上する手段の一つに、資格認定制度がある
  - JSTQBは、日本のソフトウェア技術者がテスト技術を向上させるきっかけとして、テスト技術の資格認定制度を開始した



2

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

## JSTQBとは

- **日本におけるソフトウェアテスト技術者資格認定の運営組織**
  - Japan Software Testing Qualifications Board ([www.swttest.jp/certification.html](http://www.swttest.jp/certification.html))
    - ▶ 非営利で運営を行っている / 2006/5にJTCBから名称を変更した
  - Foundation LevelとAdvanced Levelの資格認定を実施する予定
    - ▶ Foundation Level認定試験を2Qと4Qに継続的に実施する
  - 試験実施を受託する組織とパートナーシップを結ぶ
    - ▶ 現在のパートナー: 日本科学技術連盟 ([www.juse.or.jp/](http://www.juse.or.jp/))
    - ▶ ただし試験の形態や内容などはJSTQBが決定する
  - 教科書および教育組織を認証する
    - ▶ ソフトウェアテスト技術教育の質の向上のきっかけとしてほしい
- **ISTQBの加盟組織として2005年4月に認定された**
  - ISTQB: International Software Testing Qualifications Board ([www.istqb.org](http://www.istqb.org))
  - 各国のテスト技術者認定組織が参加している
    - ▶ 2005/11現在の加盟国: アメリカ、オーストラリア/ニュージーランド、オーストリア、デンマーク、オランダ、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、イスラエル、日本、韓国、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、東南ヨーロッパ(ブルガリア/ルーマニア/セルビア/モンテネグロ)、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、
  - 各国団体は資格および教育・訓練組織認証について相互認証を行う



3

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

## 資格試験の概要

- **資格試験の時期・頻度**
  - 毎年夏と冬に試験を実施する
    - ▶ 次回は2006年8月28日(月)
    - ▶ 受験料: 21,000円(税込み・予定)
    - ▶ 会場: 東京(希望が多ければ東京以外も検討)
- **資格試験の形式(Foundation Level)**
  - 問題形式: 選択問題
  - 出題数: 40問
    - ▶ 合格ラインは非公開
  - 試験時間: 60分
  - 出題範囲: シラバスに準拠
    - ▶ ISTQBテスト技術者資格制度Foundation Levelシラバスの邦訳版をJSTQBが提供
    - ▶ Advanced Levelについては、追って検討する
- **トライアル試験の結果**
  - 2006/1/31(火)に開催
  - 48名が受験し、25名が合格した(52.1%)



4

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

## シラバスの概要

- 1. テストの基礎**
  - 1.1. テストの必要性
  - 1.2. テストとは何か?
  - 1.3. テストの一般原則
  - 1.4. 基本的なテストプロセス
  - 1.5. テストの心理学
- 2. ソフトウェアライフサイクルを通じてのテスト**
  - 2.1. ソフトウェア開発モデル
  - 2.2. テストのレベル
  - 2.3. テストの種類(タイプ): テストのターゲット
  - 2.4. 保守テスト
- 3. 静的技法**
  - 3.1. レビューとテストプロセス
  - 3.2. レビュープロセス
  - 3.3. ツールによる静的解析
- 4. テスト設計技法**
  - 4.1. テスト条件の決定とテストケースの設計
  - 4.2. テスト設計技法のカテゴリ
  - 4.3. 仕様ベース、ブラックボックスのテスト技法
  - 4.4. 構造ベース、ホワイトボックスのテスト技法
  - 4.5. 経験ベースのテスト技法
  - 4.6. テスト技法の選択
- 5. テストのマネジメント**
  - 5.1. テスト組織
  - 5.2. テスト計画と見積
  - 5.3. テスト進捗のモニタリングとコントロール
  - 5.4. 構成管理
  - 5.5. リスクとテスト
  - 5.6. インシデント管理
- 6. テスト支援ツール**
  - 6.1. テストツールの種類
  - 6.2. ツールの効果的な使い方: 利点とリスク
  - 6.3. 組織へのツールの導入



5

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

## ISTQB加盟各国の資格取得者数

国名	資格取得者数 (括弧内は開始年度)		国名	資格取得者数 (括弧内は開始年度)	
	Foundation	Advanced		Foundation	Advanced
米国	445 (2004)	2 (2005)	日本	0 (2006)	-
フランス	10 (2005)	1 (2005)	韓国	61 (2005)	-
オランダ	[イギリスに含む]	[イギリスに含む]	ノルウェー	35 (2005)	-
デンマーク	278 (2004)	-	ポーランド	150 (2005)	1 (2005)
フィンランド	0 (2005)	-	スウェーデン	0 (2005)	-
ドイツ	2,385 (2002)	266 (2002)	スペイン	4 (2005)	-
インド	273 (2004)	2 (2005)	スイス	531 (2004)	9 (2005)
イスラエル	89 (2004)	-	イギリス	20,008 (1998)	795 (2002)
※2005/11現在					
<b>合計</b>				<b>24,269 (1998)</b>	<b>1,076 (2002)</b>



6

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

## JSTQBの組織

### JSTQBは3つの委員会(committee)から構成される

- 運営委員会(Steering committee): JSTQBの方向性を議論し、意志決定を行う
- 技術委員会(Technical committee): 試験問題の作成などを行う
- 諮問委員会(Advisory committee): 産学からの意見をまとめ提案する

### Steering committee: 運営委員会      Technical committee: 技術委員会

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>- 秋山 浩一(富士ゼロックス)</li> <li>- 大場 充(広島市立大学)</li> <li>- 岡崎 毅久(日本IBM)</li> <li>- 高橋 寿一(ソニー)○</li> <li>- 西 康晴(電気通信大学)◎</li> <li>- 松尾谷 徹(デバッグ工学研究所)</li> <li>- 保田 勝通(つくば国際大学)</li> <li>- 山浦 恒央(東海大学)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 石井 勇一(NECラーニング)</li> <li>- 大西 建規(豆蔵)○</li> <li>- 大野 晋(SKサポートサービス)</li> <li>- 片山 徹郎(宮崎大学)</li> <li>- 勝亦 匡秀(富士通)</li> <li>- 加藤 大受(日立製作所)</li> <li>- 佐々木 方規(ベリサーフ)◎</li> <li>- 鈴木 三紀夫(MIS)○</li> <li>- 奈良 隆正(日立システムアンドサービス)</li> <li>- 藤田 和彦(日立システムアンドサービス)</li> <li>- 藤田 和彦(日立システムアンドサービス)</li> <li>- 向井 清(住商情報システム)</li> <li>- 湯本 剛(豆蔵)</li> <li>- 吉澤 智美(NEC エレクトロニクス)</li> <li>- 渡辺 晴美(東海大学)</li> </ul> |
|---|--|

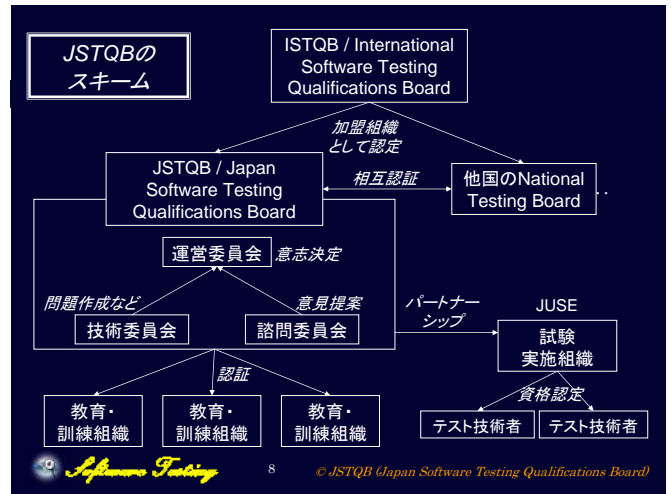
### Advisory committee: 諮問委員会

- 宗 雅彦(サイクス)
- 一上 貴夫(東陽テクニカ)
- 古川 善登(香川大学)
- 松原 友夫(松原コンサルティング)
- 山岡 英明(エンビレックス)
- 渡辺 登(IPA/SEC)



7

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)



8

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

## ぜひ資格認定取得をご検討下さい



Japan Software Testing Qualifications Board  
jstqb-query@blues.se.uec.ac.jp

© JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)